国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

２０１４年４月２８日 北海道社会保障推進協議会　Tel:011-758-2648　FAX:758-4666

生活保護不服審査請求（２回目）はじまる

３３０件超　苫小牧地域ではすでに１回目と同じ件数に

安倍政権は、生活保護基準を３段階で、最大１０％の引き下げをしようとしています。１回目の昨年８月からの引き下げには道内で約１４００世帯が不服審査請求しました。今年４月から２回目の見直しも行いました。生活保護制度を良くする会では、２回目の見直しに対しても、不服審査請求を呼びかけています。

４月２８日現在で、申請が３３２世帯となっています。苫小牧地域では８４件で、すでに１回目（８７世帯）とほぼ同数となり、さらに１００世帯をめざしています。

「生きのびる自信がありません」　消費税増税も追い打ち！

不服審査請求をした方の「私の手記」から

●今の生活費では、食べ物を買うため、節約するのがやっとです。衣料品やクツ等、ほとんど買うことができません。私の家からは、店が遠く歩いて20分以上かかるため、一度の買い物に交通費などで千円かかります。冬は、半年以上ストーブを使うため、できるだけ灯油を使わないよう寒さに耐えています。**消費税**が4月から3%アップしたので、これから先、生きのびる自信がありません。私はどうやって、これ以上切りつめていけばいいのでしょうか

●**消費税**、ガス代、電気代など上がり、ますます、生活が苦しくなる一方です。子どもも、小学校に入学してからも、目に見えないお金がかかりやりくりが大変です。子どものお金は削りたくないので、私自身の物や、食べ物を節約しています。もっと生活保護者の偏見をなくし、もっとやさしい国になってほしいです。もう、これ以上、困らせないで、悩ませないで下さい。

生活保護利用者へお誘いを　提出日は５月１５日です。

不服審査請求は、決定を知った(4月分の通知書の発行日など)翌日から60日以内です。生活保護制度を良くする会では、5月15日を提出日として、各地で準備しています。お知り合いの生活保護を利用されている方にも紹介下さい。

子どもの医療費の充実を　各地で署名広がる

北海道　紙芝居を使い、「中学卒業まで無料化」求める署名開始　新婦人道本部

新婦人道本部では、高橋道知事に対して、子どもの医療費助成制度の拡充を求めて、署名を始めています。紙芝居（左図は一部）を独自に作成し、班などで学習し署名を広げています。

５月３０日には、１次分として提出する予定です。

旭川市　190の保育所・幼稚園にも署名の協力要請　子育て支援の充実を求める会

これまで新婦人などが、市に対し、子ども医療費助成制度の充実を求めてきました。それが実り、旭川市長が今年度からが小学生まで（外来も）助成する意向を示しました。しかし、一方で、これまで無料だった３歳未満や３～６歳の非課税世帯には、新たに初診時一部負担金を増やす内容になっています。同会では「初診時一部負担金の助成継続を求める署名」を１万筆目標に取り組み、５月９日の市へ提出予定です。市内の１９０ヵ所の保育所や幼稚園、医療機関にも協力要請しています。現在**８１４２筆**集約しています。